

第3回 廃止措置研究に係る検討会実施結果概要

当社では、今後の伊方発電所1号機の廃止措置に備え、題記検討会を設置し、12月1日、原子力保安研修所において第3回目の検討会を開催いたしました。

以下に、当日の検討会の状況および検討会の概要についてお知らせいたします。

当社としましては、本検討会の状況も踏まえながら、安全確保を最優先に廃止措置に取り組んでまいります。

【第3回検討会の状況】

以下項目について議論・確認を行った。

○地元大学や地元企業に研究委託予定の研究テーマ（4件）に関する研究開発計画について確認（今回は地元大学や地元企業も検討会に参加）

- (1) 現場ニーズに幅広く対応する防護服の開発
快適性等を改善した防護服用生地および製品の開発
- (2) 効率的・効果的な除染技術の開発
ショットブラスト等を用いた除染技術における、切削深さの精度向上、
切削材料の減量化技術の開発 等
- (3) 除染時に発生する廃液の効率的な放射能低減技術の開発
放射性核種の吸着に適したゼオライトの選定 等
- (4) 高圧ジェット水に対応する防護服の開発
防護服の生地の組合せ・形状等の最適設計を行い、軽量で作業性の良い
防護服の開発

○中長期的課題に対する研究の進め方について議論

○第4回検討会に向け、研究実施状況の確認や次年度の方向性、中長期的課題の整理を実施していくことを確認

○第4回検討会の内容

- ・研究実施状況の確認
- ・次年度の方向性について
- ・中長期的課題への対応について

○第4回検討会の開催時期（平成29年3月頃を予定）

【出席者からの主なコメント】

- ・ゼオライトによる廃液処理装置の実用化については、早い段階での県内企業との連携を検討してほしい。
- ・中長期的課題に対する新たな研究テーマの選定については、県内企業の得意分野、今後技術を育てたい分野から検討してはどうか。

以 上